

全員協議会

平成23年11月1日

1 統合文教施設パブリックコメントにおける意見の内容と町の考え方について
パブリックコメント

募集期間 7月11日～8月9日
意見応募者数 24名
意見内容と詳細説明

主な質疑

問 湯中に水泳部は出来たのか？

答 併部として昨年に来た

問 内部の図面は？

答 12月の議会に提示したい。

問 プールの検討は？一般市民？高齢者？加温？暖房・エアコン？管理は？

答 プールは子供たちの利用のため、可動方式。水温は対応、併用の暖房機の設置を考えている。詳細な検討が必要。高齢者、障害者となると安全面に問題。一般開放した場合の管理は検討されていない。

問 養護教諭と校務員は？

答 校務員は3人程度。

問 プールの可動床式、メリット、ランニングコストは？

答 先生方の多忙の解消・安全確保。可動床の年間メンテナンスは100万円位。

問 建設費の41億円が適切なのか不明、費用一つ一つ明らかにすべき。

答 今は、大まかな金額だ。実施設計する段階で、棟ごとに想定される。公開したいが、発注前は控えない。

2 湯沢高原スキー場について

総務課資料による説明。

主な質疑要望

問 トリプルリフト4億3500万円、他の業者からの見積りは？

答 日本ケーブルの中で、かなり安くしているとのこと。(リフト会社は日本に1社)

問 高原・ガール・丸山の三山共通券、湯沢高原の魅力を高め、利用者を増加させるよう願う。SRSとの契約内容変更は？

答 契約書・協定書等は全面的に見直します。

問 地元の方や商工関係者への説明を。町がこうしたいということの説明を心掛けてもらいたい。

答 こちらから提案をお願いし、

何が必要かを町が判断している。

問 観光振興計画は大事だ。計画的に町の観光をどうするのかを議論すべきだ。

答 湯沢町観光振興計画を明言した。ロープウエーの再生計画と、湯沢町の観光ビジョンを策定することは認識している。

問 10億円もの設備投資、早急ではないか？湯沢の観光をどのように持って行くのが出来てから、湯沢高原の方向性を考えるべきではないか。

答 今回の提案は緊急の要請のあるもの。

問 SRSとあと5年間契約すると固めたのだから、出来る契約変更と見直しの話をするべき。

答 ロープウエーは夏場の観光で湯沢町の目玉だ。フルに生かさなければならぬ。

問 布場の真ん中のロマンスリフトを残した方が利用しやすい。

答 今は湯元側のリフトを高原に持つて行く考えだ。

問 布場スキー場は指定管理にする、という発想はできないか。

答 考えるに困難だと思われる。

問 修学旅行の件だが、高原は危険が伴う。布場の方がやはり良いと考える。

答 布場とは26年3月まで土地の賃貸契約をしようとしている。

問 企業努力や地域努力がないのではと思う。

答 高山植物園の内容は縮小している。町が影響力・指導力を発揮しているか。技術者はいるのか。

答 索道、施設についてはかなり協議されたが、花畑についてはお任せする部分があったかと思う。

問 管理の技術者がいないとすれば、町が派遣などしてお客さんが感激する提案の予算を、植物園の再生に使えぬか。

答 雲の上の植物園を監視しながら二挙に7000万円ではなく、毎年少しずつ援助したいと思う。

問 夏の観光はアルプの里、フィッシングパーク、大源ただけではお客さんが減っている。観光促進の年次計画を立てるべきではないか。

答 そのとおりと思う。

問 赤字額の確認と帳簿の確認は、町がする。会計士あるいは税理士が監査に入るようにすべきと思う。

答 施設を貸し付けているだけである。財務、経理等は第三者と二階に見るのは可能なので、相手側に申し入れてみる。

問 年度ごとに施設貸付、町有地貸付、民有地借上、国有地借上を行う、赤字解消まで無料とし、黒字になるまで継続するのか。

答 ずっと無料にする考えはない。黒字になるまで無料としなければやっつけいけないと思う。

3 その他

健康福祉課より魚沼基幹病院の概要

・総務課より神立高原スキー場・湯沢町暴力団排除条例について説明あり。

